

第37回日本血液事業学会総会  
総会長 高本 滋  
(日本赤十字社北海道ブロック血液センター所長)

## 第37回日本血液事業学会総会会告(2)

第37回日本血液事業学会総会を下記のとおり開催いたします。会員の皆様には多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

### 記

[会期]	平成25年10月21日(月)・22日(火)・23日(水)
[会場]	札幌コンベンションセンター
[テーマ]	「新たなる血液事業の展開—広域事業化・移植法・再生医療—」
[学会HP]	<a href="http://www.hokkaido.bc.jrc.or.jp/sjbp37/">http://www.hokkaido.bc.jrc.or.jp/sjbp37/</a>

### I. 総会長招聘講演

- (1) オランダの血漿分画事業

### II. 特別講演

- (1) ノーベル化学賞受賞者からのメッセージ
- (2) ABO 不適合腎移植への挑戦—移植前の抗体除去療法は本当に必要なのか?—
- (3) 血漿分画事業の将来構想
- (4) 坂本龍馬と北海道

### III. シンポジウム

- (1) これからの中年層献血の推進(同世代からの働きかけ)
- (2) 血液事業における今後のMR活動の在り方
- (3) 再生医療の進歩
- (4) 広域事業運営の現状と問題点
- (5) 献血推進・安定供給への取り組み
- (6) 採血副作用の原因とその防止対策  
(第20回日本輸血・細胞治療学会秋季シンポジウムとの合同開催)
- (7) 「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」施行後の関係団体の役割と協力体制
- (8) 献血者の検査サービスと健康管理

#### IV. 教育講演

- (1) 細菌不活化・NAT スクリーニングの国内外の現状
- (2) NICU (小児、産科) 領域の輸血
- (3) Patient Blood Management
- (4) 脳死と臓器移植
- (5) 看護師のためのスキルアップ講座
- (6) 新システムの現状と今後の発展性
- (7) 採血副作用の対応
- (8) 輸血による鉄過剰症とキレート療法

#### V. 第20回日本輸血・細胞治療学会秋季シンポジウム

- シンポジウム1 「血液製剤の緊急需要とその対応」
- シンポジウム2 「血液製剤（血漿成分）の有用性と副作用」
- シンポジウム3 「採血副作用の原因と防止策」

(第37回日本血液事業学会総会との合同シンポジウム)

#### VI. 共催（ランチョン）セミナー

学会期間中のお昼の時間帯に、共催セミナーを開催します。当日の朝、1名につき1枚の整理券を配布いたします。会場に入る際整理券を提出し、お弁当をお受け取り下さい。

#### VII. 一般演題

口演発表またはポスター発表のいずれかといたします。なお、発表形式は変更させて頂く場合もありますのでご了承ください。

発表要項および発表日程はホームページでお知らせいたします。

- ・口演発表は7分、討論3分を予定しています。
- ・ポスター発表は、座長による掲示前での移動検討形式で行ないます。発表時間は4分、討論2分を予定しています。

#### VIII. 関連行事

##### 会員交見会

日時：平成25年10月22日（火）18：30より

場所：サッポロビール園ボプラ館

#### IX. プログラム編集

下記の方々にプログラム委員をお願いいたしました。

伊藤 孝、河 敬世、清川 博之、高松 純樹、田所 憲治、  
土肥 博雄、中島 一格、中西 英夫、西本 至、南 陸彦、  
高本 滋

(順不同、敬称・所属省略)

## 演題応募規定

### 1. 資 格

- 1) 演者は、日本血液事業学会員に限ります。ただし、共同演者はこの限りではありません。
- 2) 演題は未発表のもので一演者一題とします。
- 3) 日本赤十字社血液事業研究として採択された研究課題は、本学会での発表を希望される場合には一般演題として応募してください。

### 2. 演題登録

演題登録は、第37回日本血液事業学会総会ホームページより UMIN を使用して行ってください。

<http://www.hokkaido.bc.jrc.or.jp/sjbp37/>

### 3. UMINによる登録

#### 1) UMINによる登録

- (1) UMIN オンライン演題登録システムでは、現在、Internet Explorer [Ver.6.0以上を推奨]、Netscape [Ver.4.0以上を推奨]、Safari [Ver.2.0.3 (417.9.2) 以降]、Firefox [すべてのバージョン]、Google Chrome [すべてのバージョン] 以外のブラウザでは演題登録できません。演題登録には、Internet Explorer、Netscape、Safari [Ver.2.0.3 (417.9.2) 以降]、Firefox、Google Chrome にてお願いします。

#### (2) 演題受付期間

申込み開始 平成25年4月10日(水)

申込み締切 平成25年5月31日(金)正午まで

#### (3) 演題登録方法

- ・演題登録に際しては、演題申し込み画面の指示に従って、発表形式(一般演題のみ)・筆頭演者・共同演者・所属機関名・連絡先の電子メールアドレス(携帯電話のメールアドレスは不可)・演題名・抄録本文などの必要項目をすべて入力してください。なお、以下の字数制限を超過すると登録ができませんのでご注意ください。

演題名：全角50文字以内

抄録本文：全角800文字以内

総文字数「演題名・抄録本文・演者名と所属(最大20名)」全角：1,200文字以内

全角文字は1字として、半角文字は1／2文字として数えます。アルファベットの直接入力は半角英数ですので1／2文字となります。

<SUP>などのタグは文字数には換算しません。

半角カタカナや丸文字・ローマ字・特殊文字等の機種依存文字は使用できません。文字化けや変形を避ける為、特殊文字・記号・鍵括弧については、登録用ページの注意事項を厳守してください。

演題登録後しばらくして、入力していただいた電子メールアドレス宛に登録番号、演題受領通知が送信されます。演題受領通知が届かない場合は、新規演題登録が完了していないか登録した電子メールアドレスに誤りがあった可能性がありますので、下記事務局まで電子メールでお問合せください。

- ・演題登録後も締切前であれば抄録等の訂正は可能ですが、その際には登録番号およびパスワードが必要です。演題登録時に必ず控えておいてください。
- ・締め切り直前の3～4日間はアクセスが集中し回線が大変込み合う為、演題登録に支障をきたすことがありますので、余裕を持って登録を行ってください。
- ・本文は口語体・常用漢字・新仮名づかい・ひらがな混じりとしてください。
- ・文中の英語・数字・単位については、「血液事業」の投稿規程に従ってください。
- ・本文は原則として、目標・方法・結果（または成績）・結論（または考察）の順に整理して記述するようお願いします。

#### (4) 暗号通信について

オンライン登録および修正は、原則として暗号通信の使用をお願いします。この暗号通信の使用により、第3者があなたのパスワードを盗聴して、演題・抄録を無断削除したり、改ざんしたりすることを防ぐことができます。従って、当学会では原則として暗号通信の使用を推奨します。暗号通信は登録または修正作業が終わるまで継続されます。

ただし、暗号通信が使えない場合（施設やプロバイダーの設定に問題があるか、ブラウザが古い）もありますので、その際は平文通信をご利用ください。平文通信においては、パスワード等の盗聴が可能ですから、セキュリティや個人情報の保護の点で危険です。特に病院情報システムや電子メール用に使用しているパスワードの使用は絶対に避けてください。被害が演題、抄録以外にも及ぶ可能性があります。平文通信をご利用の際は、こうした危険性を十分に考慮してください。

#### (5) パスワードについて

抄録を最初に登録するときに登録者本人に任意のパスワードを決めていただきます。演題登録番号、パスワードに関してのお問合せは一切応じられませんので必ずメモをとるなど保管するようしてください。演題応募時の演題登録番号とこのパスワードを用いることにより、登録後の変更が何回でも可能です。修正・確認は修正確認画面により行ってください。また、演題登録番号およびパスワードは登録演題のほか、受領確認等にも必要です。これらに関しては、セキュリティの関係から問合せには一切応じられません。

#### (6) 演題登録に関する問い合わせ先

演題登録に関する問い合わせは、事務局まで、E-mailにてご連絡ください。

〒060-0003 北海道札幌市中央区北三条西3丁目1 札幌大同生命ビル  
株式会社コンベンションリンクエージ 演題登録事務局  
TEL：011-272-2151  
FAX：011-272-2152  
E-mail：sjbp37@c-linkage.co.jp

#### 4. カテゴリー区分

演題カテゴリー区分は以下のとおりとします。演題登録時には最低でもカテゴリーをひとつは指定してください。

なお、演題数等により発表区分が希望と異なる場合もあり得ますことを予めご了承ください。

大区分	小区分
A 献血者対応	①広報 ②問診 ③接遇 ④問合せ ⑤その他
B 採血	①全血採血 ②成分採血 ③採血事故 ④採血過誤 ⑤事前検査 ⑥記録 ⑦その他
C 検査	①ABO, Rh 血液型 ②その他の血液型 ③HLA ④血小板型 ⑤細菌検査 ⑥検査サービス ⑦通知 ⑧輸血副作用 ⑨その他
D 感染症検査	①HBV ②HCV ③HIV ④HTLV- I ⑤その他ウイルス検査 ⑥NAT ⑦通知 ⑧献血後情報 ⑨その他
E 製剤	①調製 ②包装・表示 ③保管 ④工程管理 ⑤品質向上 ⑥その他
F 供給	①保管・運搬 ②需給予測 ③需給調整 ④記録 ⑤その他
G 学術・医薬情報	①適正使用 ②苦情対応 ③輸血副作用 ④情報提供 ⑤記録 ⑥その他
H GMP	①品質管理 ②製造管理 ③苦情・回収 ④教育・訓練 ⑤自己点検 ⑥献血後情報 ⑦査察対応 ⑧その他
I OA化	①統一システム ②イントラネット ③その他
J 分画製剤	①製造 ②供給促進 ③その他
K 技術協力	①自己血 ②末梢血幹細胞 ③洗浄血小板 ④その他
L 広域需給	①保管・運搬 ②需要予測 ③在庫調整 ④記録 ⑤その他
M その他	①骨髓データセンター ②さい帯血 ③その他

## 5. 発表形式

口演発表またはポスター発表のいずれかといたします。なお、発表形式は変更させて頂く場合もありますのでご了承ください。口演はPower Point(Windows版)によるPC発表のみといたします。発表日程および発表要項は、後日ホームページでお知らせいたします。

ポスター発表は、座長による掲示前での移動討論形式で行います。

## 6. 演題選定

一般演題の採否および発表形式(口演／ポスター)につきましては、プログラム委員会に一任させていただきます。

## 7. 発表演題の提出について

- 特別講演、シンポジウムおよびワークショップ報告の司会者並びに演者は、発言内容(演題名、所属、氏名)を含めて和文3,200字以内(図表、写真等は1点400字に換算)の発表論文を総会終了後、2週間以内に総会事務局まで提出してください。
- 一般演題は予め発表論文を作成する必要はありませんが、一部の演題について総会終了後、機関誌「血液事業」編集委員長から論文としての投稿推薦を当該演者あてにお願いする場合があります。